



# 第五次大野市総合計画

平成23年度～平成32年度

概要版





# ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち

白山の支脈に囲まれた私たちのまち「越前おおの」は、緑豊かな自然環境が育むおいしい水と食歴史、文化、伝統が息づく魅力あふれるまちです。

大野市は昭和29年の市制発足以来、将来を見通した行政運営に努め、活力と潤いのあるまちづくてまいりました。地方自治法の規定に基づく総合計画については、昭和55年の「第一次大野市総合り、以降、諸情勢を見極めながら順次計画を見直し、着実な市勢の発展に努めてきました。

しかし、今日のわが国では、経済の低迷、少子化・高齢化と人口減少、急激な情報化や国際化ののグローバル化、国民の価値観の多様化、行財政改革、規制緩和や地方分権など、社会経済情勢がています。

大野市も、他の地方都市と同様にこれらの問題にさらされており、これまでに経験したことがな題に向き合っていかなければなりません。

こうした社会背景の中にあって、大野市の将来を考えると、中部縦貫自動車道や国道の整備にの拡大や、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など越前おおのの魅力の活用による「元気な大野」また、これからのまちづくりには欠かせない「市民力」と「地域力」を生かした市民総参加型の市このような情勢を踏まえて、第五次大野市総合計画を策定いたしました。

今後は、本総合計画に基づき市民の皆さまとともに「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまいりたいと考えております。

本総合計画の策定に当たりまして、ご尽力をいただきました策定委員と幹事の皆さまや、貴重な皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、将来像の実現に向けて取り組むに当たって、皆さまの一申し上げます。





# 越前おおのの実現

に恵まれた、

りにまい進し  
計画」に始ま

進展、諸問題  
大きく変化し

い困難な諸課

伴う交流人口

の実現を目指す必要があります。

政を推進していくことが求められています。

まち」の実現に向かって着実に取り組んで

ご意見やご提言をお寄せいただいた市民の  
層のご支援とご協力を賜りますようお願い



大野市長 **岡田 高大**

## 総合計画とは…

大野市の将来を展望し、まちづくりの目標と方向を明らかにした最上位の計画であり、長期的・総合的な市政運営の指針となる計画です。

また、まちづくりの目標と方向を明らかにすることで、市民や各種団体などが主体的にまちづくりに取り組む上での指針となり、国や県などとの相互の連携と調整を図る指針となる計画です。

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成します。

基本構想では、大野市の将来像やまちづくりの目標を設定しています。基本構想の期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間です。

基本計画では、基本構想に沿って必要な施策や事業を体系的に示しています。前期基本計画の期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間です。



## 第五次大野市総合計画

### 概要版

## C O N T E N T S

### 基本構想

将来像 .....	4
将来の見通し .....	5
総合計画の体系 .....	6

### 前期 基本計画 **越前おおの元気プラン**

優しく賢くたくましい大野人が育つまち .....	8
共に思いやり支え合う安全で安心なまち .....	10
誰もが快適で暮らしやすいまち .....	12
越前おおのの魅力あふれる活力あるまち .....	14
美しく豊かな自然環境を育み継承するまち .....	16
基本構想実現に向けた行政運営 .....	18

# Q どんなまちを目指すの？

## 将来像

将来像は、大野市が目指す10年後のまちの姿です。

大野市のこれからのまちづくりには、市民の力や地域の力、各種団体や企業の力、行政の力を合わせ、共に考え、行動していくことが求められています。

総合計画における将来像は、まちづくりにかかわるすべての人や団体などにとって、目指すべき姿となります。

市民の誰もが、大野市に住んで良かったと実感できるように、また、未来の子どもたちにふるさとを引き継げるように、将来像を次のように定めます。

## ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち

次のような10年後のまちの姿を目指します。

ひかり  
かがやき

人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などは大野市が全国に誇ることができる魅力です。魅力のある素材のすべてが磨かれています。

たくましく

おおのびと  
大野人は、純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象<sup>(註)</sup>と雪国特有の粘り強さを併せ持っています。大野人の良さを保ち続けるとともに、大野の魅力を発揮する人と産業がたくましく育っています。

心ふれあう

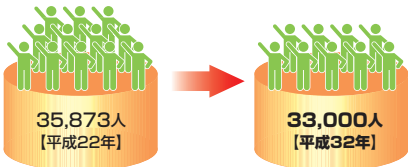
子どもから高齢者まで、人と人との触れ合いや共に語り合うことを大切に、互いに学び、働き、憩うことで、心が満ちてゆとりがあります。人情味があふれるもてなしの心で、訪れる人とも交流が深まっています。

注：進取の気象……大野市民憲章で使われている大野市の市民性を表す言葉です。



# 将来の見通し

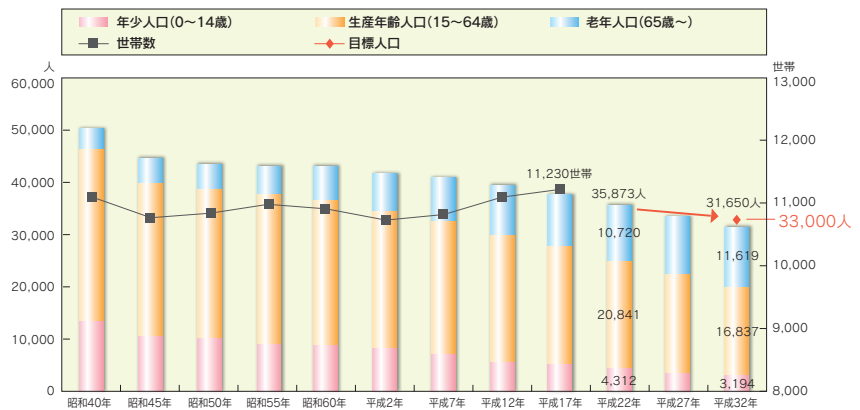
## 1 目標人口 33,000人



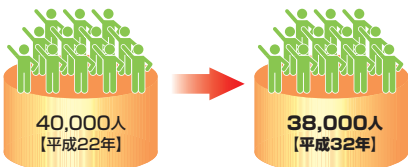
大野市の平成32年の人口は、平成22年に比べて約4,000人減少し、31,650人になると予測されていますが、政策的要因として、中部縦貫自動車道の一部供用開始や、国道158号、保健・医療・福祉サービス拠点施設などの社会基盤の整備が進んだことなどによる若者と元気な高齢者の人口増を見込み、目標人口を33,000人と設定します。

### 人口・世帯数の推移と見通し

(資料:国勢調査。平成22年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計)



## 2 目標ふれあい交流人口 38,000人



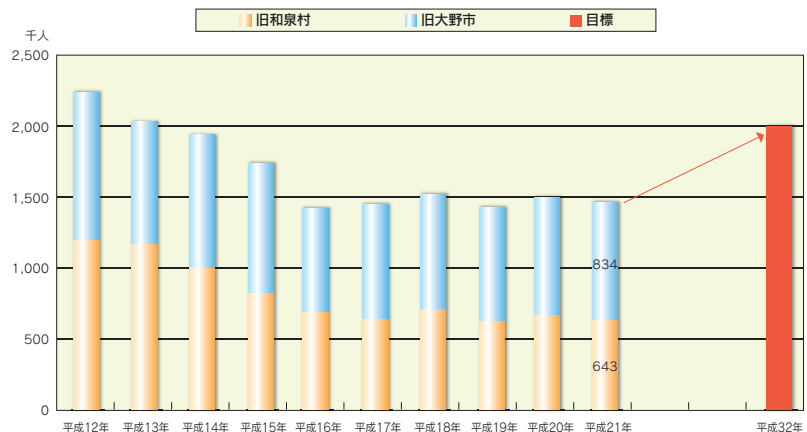
大野市独自の見通しとして、人口に1日当たりの大野市外からの来訪者数を加えた「ふれあい交流人口」を取り入れます。

地域資源を磨きつつ有機的に連携させ、中部縦貫自動車道の一部供用開始など社会基盤が整うことで、観光客の大幅増を見込み、目標年間観光入り込み客数を200万人(1日当たり約5,000人)と設定します。

目標人口33,000人に1日当たり約5,000人を足して、目標ふれあい交流人口は、38,000人と設定します。

### 観光入り込み客数の推移と見通し

(資料:市観光振興課)



## 3 土地利用

土地利用の基本方針は、①大野の特性を生かした土地利用、②自然と共生する土地利用、③安全で快適な土地利用の3点とします。

# 総合計画の体系

将来像

ひかりかがやき、たく

基本構想

構想実現のための柱

人が元気

基本目標

優しく賢く  
たくましい  
おおのびと  
大野人が育つまち

共に思いやり支え合う  
安全で安心なまち

誰もが快適  
暮らしやすい

基本施策

前期基本計画 越前おおの元気プラン

- 心豊かな人づくり
- 豊かな心を育てる文化力の育成
- 活力あふれるスポーツ社会の実現
- 共に力を合わせるふるさとづくり
- 高齢者の安全確保と社会参加の促進
- 障害のある人への支援
- 子どもと子育て家庭への支援
- 保健予防と地域医療の推進
- 保健・医療・福祉の一体的取り組み
- 災害に強いまちづくりの推進
- 防災・消防基盤の整備
- 犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進
- 中部縦貫自動車道の整備促進
- 幹線道路網の整備促進
- 人にやさしい道路環境の創出
- 快適な生活関連の基盤整備
- 快適な住宅の整備





# ましく、心ふれあうまち

## 産業が元気

## 自然が元気

## 行財政改革

で  
まち

越前おおのの魅力あふれる  
活力あるまち

美しく豊かな自然環境を  
育み継承するまち

基本構想実現に  
向けた行政運営

- 高度情報化の推進
- 公共交通手段の確保
- 雪に強いまちづくり

- 越前おおの総ブランド化の展開
- 越前おおの型農業の推進
- 森林整備の推進と林業の振興
- 中心市街地の活性化
- 戦略的な観光の推進
- 地域間交流の推進
- 定住の促進
- 雇用の確保と働く環境の整備

- 地下水の保全と湧水文化の再生
- 豊かな自然環境の保全と創出
- 快適な生活環境の保全
- 良好なふるさと景観の形成
- 次世代につなぐ持続可能な社会の形成

- 市民総参加・協働型の市政の推進
- 情報化社会に対応した市政の推進
- 健全な行財政の推進

# Q どんなことをするの？

## 基本目標 1 優しく賢くたくましい大野人が育つまち おおのびと

粘り強さや厚い人情、進取の気象など古くから育まれてきた大野人ならではの良さが、ややもすると失われつつある中、良いものを生かし新しいことにも果敢に挑戦する気象を受け継ぐことが必要です。

このため、人と人との触れ合いを深め、語り合いを大切にし、一人一人が人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など多くの魅力を持つ郷土に愛着を持ち、生涯を通じて学ぶことのできる教育環境の充実に努めます。

また、地域の個性が感じられるまちづくりを目指し、市民自らが地域への誇りを持ちながらさまざまな活動ができるよう、人材育成や地域貢献活動への支援に取り組み、市民力・地域力の向上を図ります。

### 基本施策 1 心豊かな人づくり

施策1 特色ある学校づくり 施策2 生涯学習の推進 施策3 地域を担う人材養成  
施策4 心豊かな青少年の育成 施策5 国際感覚のある人づくり

### 基本施策 2 豊かな心を育てる文化力の育成

施策1 文化的遺産の保存と活用 施策2 文化芸術の振興

### 基本施策 3 活力あふれるスポーツ社会の実現

施策1 生涯スポーツの推進 施策2 競技力の向上 施策3 スポーツ施設の整備と充実

### 基本施策 4 共に力を合わせるふるさとづくり

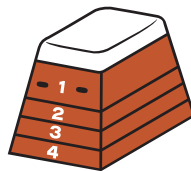
施策1 市民力・地域力アップに向けた仕組みづくり 施策2 市民協働の推進  
施策3 男女共同参画社会の推進 施策4 人権尊重社会の実現





## 成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
郷土に関する学習の目標実施時間数を達成した学校数	郷土に関する学習の目標実施時間数（年度ごとの全学年合計。小学校で年間250時間上、中学校で年間80時間以上）を達成した小中学校の数	小学校8校 中学校4校	全小中学校	達成 校数
図書館の貸し出し冊数	図書館の年間延べ貸し出し数	133,788 (21年)	140,000	冊
公民館講座・教室受講者数	各公民館で開催する講座や教室の年間延べ受講者数	16,881 (21年)	17,500	人
外国人と市民の交流機会提供数	財団法人福井県国際交流協会と連携し外国人と市民の交流事業を大野市内で開催した数	0	1	回
市指定文化財数	市指定の文化財の件数	111	115	件
公演などの開催回数	市が支援する音楽会や演劇などの文化公演の年間実施回数	14 (21年度)	16	回
みんなでスポーツ参加者数	スポーツ教室「みんなでスポーツ」への年間参加者数	1,600 (21年)	2,100	人
スポーツ施設などの利用者数	体育館などの年間利用者数	246,302 (21年)	260,000	人
協働のモデル事業の実施	市民協働推進のためのモデル事業の年間件数（市民提案型・行政提案型）	0	10	件
人権関係の啓発活動	大野市人権施策推進計画に基づいた啓発活動や講演会の年間開催回数	7 (21年)	10	回



# Q どんなことをするの？

## 基本目標② 共に思いやり支え合う安全で安心なまち

少子化・高齢化や核家族化が進む中、安全で安心なまちを実現するためには、福祉や保健、医療、防災などの分野において、地域内における住民相互の助け合いや連携が必要となっています。

このため、すべての人が生涯を通じて安心して暮らせるよう、高齢者と障害者の自立や子育てを社会全体で支え合う地域福祉の推進に努めます。

また、健やかで充実した生活ができるよう、健康づくりや介護予防に心掛けるなど、健康への意識の向上を図るとともに、医療機関や行政の連携に市民が協力する地域医療体制の確立を目指します。

さらに、災害に強いまち、事故や犯罪、消費者被害がないまちを目指し、防災と消防の基盤整備を進めるとともに、地域内で活動する団体や組織を育成し、互いに呼び掛け合い、助け合うことで防止、抑止意識の向上を図ります。

### 基本施策 5 高齢者の安全確保と社会参加の促進

施策① 高齢者の支援体制の整備 施策② 高齢者の交流活動の促進 施策③ 高齢者の活躍の場の創出

### 基本施策 6 障害のある人への支援

施策① 児童デイサービスセンターの設置と運営 施策② 障害福祉サービスの提供と支援体制の整備  
施策③ 見守り体制の整備 施策④ ボランティアの育成

### 基本施策 7 子どもと子育て家庭への支援

施策① 子育て支援サービスの充実 施策② 保育サービスの充実 施策③ 子どもの生活環境の確保

### 基本施策 8 保健予防と地域医療の推進

施策① 健康づくりと保健予防の充実 施策② 特定健康診査や特定保健指導などの推進 施策③ 地域医療体制の充実

### 基本施策 9 保健・医療・福祉の一体的取り組み

施策① 保健・医療・福祉サービス拠点施設の整備

### 基本施策 10 災害に強いまちづくりの推進

施策① 危機管理体制の強化 施策② 地域防災力の強化 施策③ 救急体制の充実 施策④ 広域による消防体制の確立

### 基本施策 11 防災・消防基盤の整備

施策① 治山・治水による安全の確保 施策② 建物の耐震化 施策③ 消防施設・設備の充実  
施策④ 災害や緊急時に備えた飲料水の確保 施策⑤ デジタル無線の整備

### 基本施策 12 犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進

施策① 地域防犯力の強化 施策② 交通安全対策の推進 施策③ 消費者生活の安全の確保



## 成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
要介護認定率	大野市における要介護認定率	15.9	15.9	%
お出かけほっとサロン事業参加者数	お出かけほっとサロン事業の年間延べ参加者数	3,716 (21年)	12,000	人
雇用が促進された高齢者の数	特定求職者の雇用支援により雇用された高齢者の累積人数	3	50	人
障害者相談支援センター相談件数	障害者支援の制度情報の入手などで障害者相談支援センターに相談のあった年間件数	2,564 (21年)	3,000	件
ボランティア登録者数	福祉関係のボランティア登録者数	5,190 (21年度)	5,500	人
地域子育て支援センター利用者数	子育てに関する相談や育児情報の入手などで地域子育て支援センターを利用した年間延べ人数	4,994 (21年度)	5,500	人
休日・延長保育の利用者数	就労と育児の両立支援のために、休日保育や延長保育を利用した子どもの年間延べ人数	283 (21年度)	518	人
特定健康診査の実施率	国民健康保険加入者で40～74歳の特定健康診査実施率	36.9 (21年度)	80.0	%
特定保健指導実施率	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人に対する保健指導実施率	44.7 (21年度)	60.0	%
かかりつけ医の浸透率	市民アンケートで「かかりつけ医がある」と回答した人の割合	72.0 (21年)	80.0	%
保健・医療・福祉サービス施設の利用しやすさ	市民アンケートで「利用しやすい」と回答した人の割合	17.6 (14年)	50.0以上	%
自主防災組織の結成率	全行政区に対する自主防災組織を結成した行政区の割合	84	100	%
消防団員の充足率	消防団員定数に対する消防団員の割合	98	100	%
普通救命講習の修了者数	事業所と一般市民を対象とした応急手当などの救急講習を修了した年間人数	400 (21年度)	500	人
里山砂防事業の実施箇所	里山砂防事業の実施箇所数	1	2	カ所
住宅の耐震化率	人が居住している住宅数に対する耐震性を有する住宅数の割合	65	90	%
消防水利の充足率	消防法に基づく消防水利の基準設置数に対する設置済み数の割合	66	70	%
避難情報や国民保護情報などの一斉伝達範囲	デジタル同報系防災行政無線の人口カバー率	2	100	%
刑法犯認知件数	大野市における年間刑法犯認知件数	160 (21年)	100以下	件
消費者相談センター相談件数	消費者相談センターに相談があった年間件数	125 (21年度)	150	件

# Q どんなことをするの？

## 基本目標3 誰もが快適で暮らしやすいまち

産業を支え、働く人や暮らす人を支えるとともに、多彩な交流を進めるためには、まちの動脈となる幹線道路の整備や公共交通の確保、基盤となる施設の整備が不可欠です。

このため、中部縦貫自動車道や国道158号をはじめとする幹線道路の早期の整備促進、より良い生活環境づくりのための上下水道整備、快適な道路空間造り、情報通信基盤の整備など、必要な社会資本整備を進めます。

また、中部縦貫自動車道の開通を見据え、「越前おおのまるごと道の駅」の実現に取り組みます。

さらに、高齢者や学生など交通弱者にとって必要不可欠な公共交通の確保に努めるとともに、共助による除雪の体制づくりを進めるなど、訪れる人にも暮らす人にも快適なまちづくりを目指します。

基本施策  
13

### 中部縦貫自動車道の整備促進

施策1 中部縦貫自動車道の整備促進 施策2 越前おおのまるごと道の駅構想の推進

基本施策  
14

### 幹線道路網の整備促進

施策1 国道158号の整備促進 施策2 国道157号大野バイパスの早期整備促進  
施策3 国道476号や主要地方道などの整備促進

基本施策  
15

### 人にやさしい道路環境の創出

施策1 生活道路の管理と整備 施策2 橋の長寿命化 施策3 誰にもやさしい道路整備 施策4 自転車走行空間の整備

基本施策  
16

### 快適な生活関連の基盤整備

施策1 水道の整備 施策2 下水道の整備 施策3 小公園や防災機能を持つ公園などの整備

基本施策  
17

### 快適な住宅の整備

施策1 高齢化に対応する住宅の整備促進 施策2 中心市街地の居住促進 施策3 公的住宅の施設改善

基本施策  
18

### 高度情報化の推進

施策1 情報通信基盤の整備

基本施策  
19

### 公共交通手段の確保

施策1 バス運行の充実 施策2 JR越美北線の利用促進

基本施策  
20

### 雪に強いまちづくり

施策1 雪に強い道路づくり 施策2 雪に強いまちづくりの推進



## 産業が元気

## 成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
中部縦貫自動車道大野油坂道路の速やかな事業化	未事業化区間の1日も早い事業化	計画区間	事業化	
越前おおのまるごと道の駅構想の策定	越前おおのまるごと道の駅構想の策定	未策定	策定	
国道158号境寺・計石バイパスの事業化	境寺・計石バイパス約5.0km間の事業着手	未着手	事業化	
西部アクセス道路の整備	西部アクセス道路の事業着手	未着手	事業化	
市道の改良率	市道の実延長に対する改良済みの延長の割合	81.4	82.0	%
橋梁補修数	長寿命化のための補修を実施した橋の数	0	5	橋
歩道のバリアフリー率	歩道の総延長に対するバリアフリー工事を実施した延長の割合	31	36	%
上水道の普及率	上水道対象区域の人口に対する上水道加入人口	19	21	%
公共下水道整備率	公共下水道の全体計画区域面積に対する整備済みの面積	41.8 (21年度)	68.5	%
合併処理浄化槽設置数	補助金を交付した合併処理浄化槽の各年度までの累積設置数	1,364 (21年度)	1,604	基
一人当たり公園面積	都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積	12.9	13.8	m <sup>2</sup> /人
高齢者等賃貸住宅家賃助成件数	高齢者などに対する賃貸住宅家賃助成件数	34	51	件
超高速ブロードバンド整備地区	超高速ブロードバンド整備地区	大野、下庄、乾側、小山、富田の5地区	大野、下庄、乾側、小山、富田、上庄、阪谷、和泉の8地区	地区数
大野市内バス乗客数	大野市内バスの年間乗客数	32,062 (21年度)	44,000	人
広域バス乗客数	広域バスの年間乗客数	334,847 (21年10月～22年9月)	355,000	人
越美北線の乗客数	越美北線の年間乗客数	338,000 (21年度)	347,000	人
流雪溝の整備	整備延長	86,441	87,500	m
降雪期前の雪下ろし作業登録者数	降雪期前の雪下ろし作業登録者数	79	120	人

# Q どんなことをするの？

## 基本目標4 越前おおのの魅力あふれる活力あるまち

ますます厳しさが増す経済状況の中、まちの活力を高めるためには、大野市ならではの魅力に着目し、機会を確実に捉えつつ、人や経済の流れを絶えずつくり出し、市民所得を生み出していくことが大切です。

このため、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など大野市の魅力を発揮させる「越前おおの総ブランド化」を展開するとともに、「越前おおの型農業」の確立による農業の活性化と、森林が持つ観光資源や癒しの場としての機能も十分発揮できるよう林業の活性化に努めます。

また、中心市街地活性化を推進し、新たな観光戦略づくりや新たな地域資源の発掘に努めることにより、交流人口の拡大を図ります。

さらに、越前おおの魅力を発揮できる企業の誘致や新たな産業の育成による雇用の確保と、子育てと仕事が両立できる雇用環境の整備に努めます。

基本施策  
21

### 越前おおの総ブランド化の展開

施策1 越前おおのブランド化の推進 施策2 越前おおのブランドの発信 施策3 越前おおの産地保証制度の確立  
施策4 特産品や地場産材などの利用促進 施策5 越前おおの食の伝承と活用推進

基本施策  
22

### 越前おおの型農業の推進

施策1 農業と農山村の活性化対策 施策2 多様な経営体の共生による農業の振興 施策3 農産物の総ブランド化の推進  
施策4 農地の適正な管理と農業基盤整備の推進 施策5 鳥獣被害のない里づくりの推進

基本施策  
23

### 森林整備の推進と林業の振興

施策1 適正な森林整備と地場産材の活用促進 施策2 林業の担い手育成  
施策3 林業活性化のための林業生産基盤施設の整備 施策4 特用林産物の栽培促進

基本施策  
24

### 中心市街地の活性化

施策1 越前おおの結ステーションの利活用 施策2 “まちなか”満足度の向上  
施策3 魅力ある商店街の形成と商業の活性化 施策4 歴史的なまち並みの保全や観光施設の整備

基本施策  
25

### 戦略的な観光の推進

施策1 観光資源の活用と発掘 施策2 イベントの充実と広報の推進 施策3 周遊・滞在型観光の推進 施策4 エコ・グリーンツーリズムの推進

基本施策  
26

### 地域間交流の推進

施策1 広域的な交流の促進

基本施策  
27

### 定住の促進

施策1 定住情報の提供とサポート体制の充実 施策2 定住促進対策

基本施策  
28

### 雇用の確保と働く環境の整備

施策1 積極的な企業誘致 施策2 新たな産業の育成による雇用の確保  
施策3 生き生き働く職場環境の整備促進 施策4 生涯現役への就労支援



# 産業が元気

## 成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
ブランド発信にかかわる人数	越前おおのブランド大使、越前おおのサポーター、平成大野屋支店主と番頭、観光ボランティアの総人数	165	200	人
里の恵み認証登録者数	「越前おおの里の恵み」認証の登録者数	9	20	人
産地保証登録者数	「越前おおの産」産地保証の登録者数	63	100	人
活性化に取り組む集落数	活性化モデル集落への累積支援数	7	30 (24年度)	集落
新規就農者数	新規就農を支援した人の累積人数	15	27	人
特産作物の生産促進	里芋、ネギの作付面積	里芋 124 ネギ 25	130 30	ha
耕作放棄地の再生	農地への再生面積	0.5	2.0	ha
農道舗装整備率	実農道延長に対する舗装済み延長の割合	78.2	80.0	%
間伐材搬出材積	間伐材の搬出材積	2,750 (21年度)	3,500	m <sup>3</sup>
林業作業士育成数	森林組合で働く林業作業士数	23	33	人
林道舗装率	林道の舗装率	38.9	47.3	%
中心市街地の観光入り込み客数	大野市を訪れる観光客の総数のうち、中心市街地への年間入り込み客数	42.6 (21年)	52.5	万人
歩行者通行量	まちなか6地点における歩行者通行量（休日）	2,869 (21年)	3,700	人
観光入り込み客数	大野市を訪れる観光客の年間総数	148 (21年)	175	万人
交流を行う自治体数	姉妹都市などの交流に関する協定を締結している自治体数	6	15	自治体
定住受け入れ件数	平成20年度以降にIJU（移住）サポートチームが支援し、大野市外から大野市に定住した累積件数	6	18	件
定住のための住宅取得件数	定住のための住宅取得に対する助成の累積件数	58	85	件
チャレンジ企業認定件数	チャレンジ企業認定累積件数	3	10	件
育児休業取組事業所数	育児休業取得制度に取り組む中小企業数	2	5	事業所



## Q どんなことをするの？

### 基本目標5 美しく豊かな自然環境を育み継承するまち

先人から受け継いだ恵まれた自然環境を後世に伝えていくため、市民一人一人が主体となって、美しく豊かな水やみどりを大切に守り育てていく必要があります。

このため、水を育む森林や私たちの身近にある里地里山、里川の保全とともに、地下水の保全や御清水を代表とする湧水の再生に取り組み、良好な水環境や越前おおのらしい景観を形成します。さらには、観光や交流に向けて、これら地域資源の有効な活用を図ります。

また、市民、企業への環境保全意識の啓発や子どもたちへの環境教育を進めるなど、環境を守り育てる人づくりに取り組みながら、自然環境への負荷が少ない低炭素社会と資源循環型社会の形成を目指します。

基本施策  
29

#### 地下水の保全と湧水文化の再生

施策① 地下水保全活動の啓発と支援 施策② 地下水の保全 施策③ 湧水文化の再生

基本施策  
30

#### 豊かな自然環境の保全と創出

施策① 農山村の自然環境の保全 施策② 森林の保全  
施策③ 生態系、自然環境に配慮した水路の整備 施策④ 河川の自然再生と親水環境の創出

基本施策  
31

#### 快適な生活環境の保全

施策① 河川や地下水の水質保全 施策② 公害の防止と環境美化の推進

基本施策  
32

#### 良好なふるさと景観の形成

施策① まちなか景観の保全と形成 施策② 屋外広告物の改善  
施策③ 田園・山村景観の保全と形成 施策④ 華のジュータン形成の推進

基本施策  
33

#### 次世代につなぐ持続可能な社会の形成

施策① 低炭素社会づくりの推進 施策② 循環型社会づくりの推進 施策③ バイオマスの利活用



# 自然が元気

## 成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
11月の平均地下水位	大野市地下水保全管理計画に基づく、3カ所の基準観測井における11月の平均地下水位	御清水観測井 1.63 春日公園観測井 7.11 菖蒲池(浅井戸) 観測井 7.82 (17～21年度 の平均)	1.50未満  6.63未満  7.57未満	m
森づくり関係団体数	自主的に森づくりや林業体験などを行う団体	11	15	団体
地域で設置された自然環境に配慮した施設の設置数	農地や水、農村環境の保全活動により設置された生態系に配慮された施設の累積数	6	12	カ所
水質基準を達成した河川などの数	市が実施する11河川などの水質検査結果において、越前おおの環境基本計画で河川などごとに設定した水質基準を満たした河川などの数	8 (21年度)	11	河川 など
水洗化率	公共下水道加入人口、農業集落排水加入人口および合併処理浄化槽設置人口を足して大野市人口で割った率	48.8 (21年度)	61.0	%
違法な屋外焼却に係る苦情件数	違法な廃棄物などの屋外焼却についての年間苦情件数	32 (21年度)	0	件/年
修景と屋外広告物改修の補助件数	修景や既存不適格広告物の改修に対する補助の累積件数	修景 18 広告物改修 0	38 18	件
芝桜などの植栽面積	芝桜などの累積植栽面積	27,000	200,000	m <sup>2</sup>
住宅用太陽光発電設備設置件数	一般住宅への太陽光発電設備に対する支援により設置した累積数	95 (21年度までの累積)	215	件
1人1日当たりのごみ排出量	市民1人1日当たりのごみ排出量	887 (21年度)	835	g/ 人・日
ごみの資源化率	ペットボトルや空き缶、紙類などの分別収集や集団回収により一般廃棄物を資源化した率	25.3 (21年度)	28.1	%





# Q どんなことをするの？

## 基本構想実現に向けた行政運営

人口減少社会が到来し、高齢化が進む中、複雑化・多様化する市民ニーズに的確に応えるとともに、地域主権の時代にも対応できる行政の体制を整えることが求められています。

このため、これまでの行政主導の市政から、開かれた市民総参加・協働型の市政へ転換する必要があります。

また、日々進歩する情報化社会への速やかな対応や地域主権の時代を見据えた行財政システムの構築などにも取り組まなければなりません。

本構想に掲げる五つの基本目標を実現するため、次の事項を積極的に推進していきます。

基本施策  
34

### 市民総参加・協働型の市政の推進

施策① 市民力・地域力の向上 施策② 広報の充実  
施策③ 市民が利用しやすい市役所の実現 施策④ 情報公開制度などの充実

基本施策  
35

### 情報化社会に対応した市政の推進

施策① 市民と行政の情報の共有化 施策② 大野市外に向けた魅力ある情報の発信  
施策③ 高度情報化の充実

基本施策  
36

### 健全な行財政の推進

施策① 継続的な行政改革の推進 施策② 職員力・組織力の強化 施策③ 健全で柔軟な財政運営



# 行財政改革

## 成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
市ホームページアクセス件数	市ホームページにアクセスした延べ件数	320,000 (19~21年度 の平均)	370,000	件
新しい市庁舎の建設	新庁舎の供用開始	構想策定	新庁舎供用開始	
パブリックコメント案件1 件当たりの意見数	パブリックコメント制度を実施した案件1件 当たりの提出された意見の数	3 (21年度)	10	件
施設予約システムでの利用 可能施設数	「ふくe-ねっと」を利用して予約できる施設数	2	10	施設
電子申請システムでの利用 可能手続数	「ふくe-ねっと」を利用して申請できる手続数	24	40	件



ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち



ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち

## 第五次大野市総合計画 概要版

発行：平成23年2月

編集：大野市秘書政策局総合政策課行政戦略室

〒912-8666 福井県大野市天神町1番1号  
Phone 0779-66-1111 Fax 0779-65-8371  
ホームページ <http://www.city.ono.fukui.jp/>  
E-mail [senryaku@city.fukui-ono.lg.jp](mailto:senryaku@city.fukui-ono.lg.jp)



古紙配合率100%再生紙を使用しています



この冊子は、大豆油インキを使用しています。